

ESA でドメインへのメール配信を分析するにはどうすればよいですか。

目次

[はじめに](#)

[ESA でドメインへのメール配信を分析するにはどうすればよいですか。](#)

[CLI でドメイン デバッグ ログを有効にする](#)

[ドメイン デバッグ ログの例](#)

概要

このドキュメントでは、電子メール セキュリティ アプライアンス (ESA) でドメインへのメール配信を SMTP レベルで分析する方法について説明します。

ESA でドメインへのメール配信を分析するにはどうすればよいですか。

ドメインへの SMTP トラフィックを分析する場合は、外部ドメインか内部ドメインかにかかわらず、次のようにドメイン デバッグ ログを設定します。ドメイン デバッグ ログは、SMTP レベルのデータを提供します。

1. [GUI] > [System Administration] > [Log Subscriptions] から [Domain Debug Log] を選択します。
2. Log Name : 任意の名前 (この名前のディレクトリが作成されるので、debug などの 1 単語にしてください) 。
3. Domain for which Debug Information will be Recorded : 電子メールを送信しようとしているドメイン名。 example.com など。
4. Number of SMTP sessions to Record for this Domain : ログ ファイルに記録する SMTP セッションの総数を指定する必要があります。セッションが記録されるにつれ、この数は減少していきます。ログ サブスクリプションを削除または編集して、すべてのセッションが記録される前にドメイン デバッグを停止できます。(たとえば、問題のドメインにメッセージがいつ送られるのかがわからない場合は 500 などに設定し、すぐにテストできる場合は 5 などに設定します) 。
5. Maximum File Size : キャプチャは問題を再現している短時間に限られるため、これはデフォルトの 10 MB のままでかまいません。 [Maximum Number of Files] についても同様です (デフォルトの 10 のままにします) 。

CLI でドメイン デバッグ ログを有効にする

1. [logconfig] > [new] コマンドを入力します。

2. [Domain Debug Logs] を選択します。
3. このログの名前を入力します (debugging_example など)。
4. 上の「注」と同じ質問が行われるので、それらに適宜答えます。

次に示すのは、ドメイン デバッグ ログの例です。 インジェクション デバッグ ログとドメイン デバッグ ログは mail_logs に似ています。 これらのログに対して grep や tail コマンドを使用できます。

ドメイン デバッグ ログの例

```
Sat Dec 21 02:37:22 2003 Info: 102503993 Sent: 'MAIL FROM:example1@example.com '  
Sat Dec 21 02:37:23 2003 Info: 102503993 Rcvd: '250 OK'  
Sat Dec 21 02:37:23 2003 Info: 102503993 Sent: 'RCPT TO:example2@example.com '  
Sat Dec 21 02:37:23 2003 Info: 102503993 Rcvd: '250 OK'  
Sat Dec 21 02:37:23 2003 Info: 102503993 Sent: 'DATA'  
Sat Dec 21 02:37:24 2003 Info: 102503993 Rcvd: '354 START MAIL INPUT, END WITH  
"." ON A LINE BY ITSELF'  
Sat Dec 21 02:37:24 2003 Info: 102503993 Rcvd: '250 OK'
```